

平成28年8月9日に開かれた臨時会では、補正予算のほか財産の取得など3議案が審議され全て可決しました。

平成28年度一般会計補正予算(第2号)

<b>歳入</b>		(△はマイナス)
地方交付税	2億5007万4千円	
国庫支出金	△2087万4千円	
町債	1570万円	
<b>歳出</b>		
商工費	2億4878万7千円	
土木費	△436万4千円	
予備費	47万7千円	



指定管理者の指定

管理を行わせる施設の名称  
七ヶ宿町移住定住支援センター

所在地  
七ヶ宿町字田中道下39番地2

指定管理者  
株式会社七ヶ宿くらし研究所  
代表取締役 斎藤一重

指定期間  
平成28年9月1日～  
平成33年3月31日

**問** 菅原研治議員  
代表取締役以下何名の社員で構成されるのか。また、中・長期的展望の中でどのような会社の運営を考えているのか。

**答** ふるさと振興課長  
代表取締役の副町長の斎藤が就任し、社員1名を7月21日から採用して準備に当たっている。

**答** 町長  
最終的には移住定住の相談やセミナー、イベント関係にも業務を広げ、なおかつ古民家を活用してコーヒー等が飲めるような形も今検討している。その際雇用人数も増やしていけるような仕組みをつくっていきたい。

梅津政志議員

**問** 工事請負費2億2900万円が賑わい拠点施設の造成費として計上されている。ミニスーパリーの建設費用が5000万円とのことだが、それを差し引いた1億7900万円が一枚田、諏訪原それぞれの造成に当たる費用なのか。

**答** 町長  
5000万円はまだ確定ではない。2億2900万円の内訳は、南エリアでは造成工事と外溝工事、合わせてミニスーパリーの建築工事を行う予定。北エリアは造成工事のみ発注したい。

吉野一夫議員

**問** 賑わい拠点造成地に盛り土するための残土を運搬する業者等の進捗状況は。北エリア南エリアそれぞれに防火水槽と消火栓設置の予定はあるのか。

**答** ふるさと振興課長  
盛り土残は両方合わせて約8500m<sup>3</sup>必要となるが、これはダムの沈砂池から掘削して砂以外に残った部分を購入する話を進め、おおむね了解をいただいている。土量についても8000m<sup>3</sup>を超える在庫があるということ十分間に合う見込み。防火水槽、消火栓の設置は北、南側エリアとも考えていない。

財産の取得について

取得物件  
七ヶ宿町営バス

数量  
1台

取得価格  
987万1200円

取得の相手方  
三菱ふそうトラック・バス株式会社仙南支店

**問** 梅津政志議員  
現在稼働しているどの路線に使っているバスの更新なのか。その更新理由は。また、バスの仕様と納車時期は。

**答** ふるさと振興課長  
主に長老線を走っているバスの代替で、賑わい拠点の整備の際にバス路線の見直しも検討に入っているためその辺も視野に入れた更新となる。今回のバスは従来の町道を走っていたようなバスと同じタイプの四輪駆動車でステップは2段。納期は平成29年1月末を予定している。